

## 「大丈夫かニッポン（前編）！」世代交代を促進しよう！

拝復 二週間のご無沙汰でした。すっかり秋も深まり、北の国からは雪の便りが届くようになっていきます。ん？それにしても今年は「秋」が非常に短かったような気がするのですが、いかがですか？9月中旬までの猛烈な酷暑のせいでしょう。ここ数日は事務所のエアコンのスイッチを切ってちょうどいい気温です。朝晩は結構冷えます。

この二週間で印象的な事件が二つ、一つは「チリの鉱山作業員の救出」。ハラハラドキドキまるでハリウッド映画を見ているようでした。もう一つは「羽田空港国際線 開港」でした。かつて NewsLetter66 号「観光大国日本」で、羽田のハブ空港化を取り上げました。私見ですが、羽田の滑走路をあと2本増やして完全に国際空港として機能させれば、どれだけ日本に収益をもたらすか計り知れません。残念ながら成田空港は貨物専用とし、米軍の嘉手納基地をここに移転させましょう。成田はあまりにも不便すぎる。千葉県に住んでいる私が言うんだから間違いない(笑)。**成田にこだわることはアジアのハブを完全にインチョンに取られることを意味するでしょう。**

で、羽田空港の落成記念式典の様子をニュースで見ているとき、あることに気がついて愕然としました。あまりいい写真ではないのですが、お分かりになられますか？



←え〜、葬式ではありません(笑)

絶望的な気分となったのは出席者の後姿でした。まず、ほとんどが男性です。しかも後ろからの写真ですが、大分お年を召した方が多い。「老害」という言葉が瞬間的に頭の中をよぎりました。もちろん、こうした式典への出席が多い「名誉会長」なんていう人が多いのかもしれませんが、私の直感では平均年齢は70歳オーバーでした。

「格差社会」という言葉がすっかり地に着いてきました。でも、日本の場合、貧富の差を表す「ジニ係数は」先進諸国の中では決して大きいものではありません。むしろ小さいといってよい。(興味のある方は <http://www.mof.go.jp/jouhou/syuzei/kiso160330a.pdf> をご覧ください)

もちろん貧富の差は長期トレンドの中では上昇をしています。しかしそれよりも大きなものは「**世代間格差**」が広がっていることです。

「派遣切り」が大きな問題として取り上げられたのは2008年末。リーマンショックの余波が非正規雇用者を直撃しました。彼らの多くはバブル崩壊以降、長く続く「就職氷河期」を通じて社会に「正社員デビュー」が出来なかった若者が多かった。**年収は200万円**くらいでしょう。(時給1000円×8時間×250日で計算)。これは親元から通えば何とかなるかもしれませんが、自立して生活をするには少なすぎます。さらにこの中から年金、健康保険が天引きされます。**この年収では結婚をすることもかなわず、子供をもって家を買って、などの「戦後日本が目指してきた普通の生活」を送ることは難しいでしょう。**

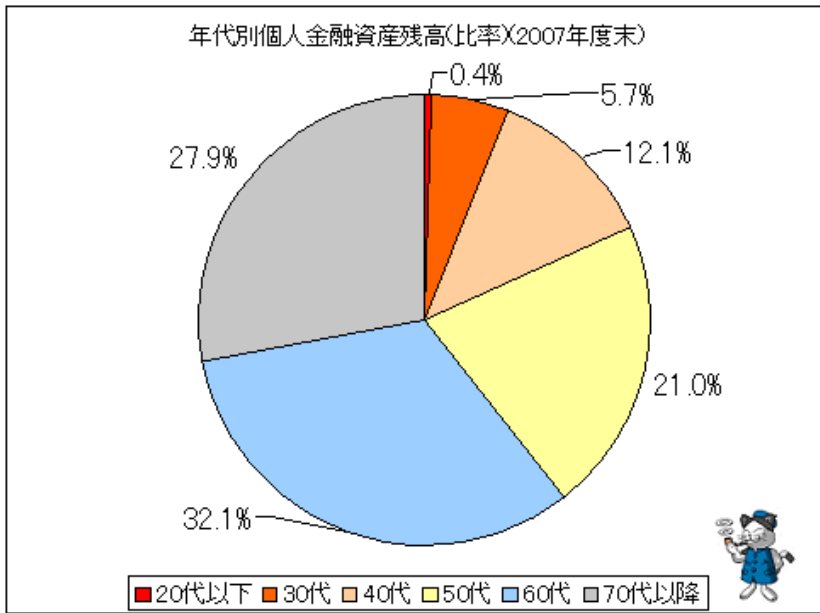
今年の大卒の就職内定率は**61%**。最も就職率が高かった1990年に比べて20%も落ちています。就職も進学もしなかった人数は約9万人。高卒者も約6万人が同様に「プータロー」化しています。

彼らが就職できない原因は直接的には長期に低迷する不況(業績)にあわせて一社あたりの採用数を減らしているところにあります。間接的には「正社員」を増やすことに企業の腰が極端に引けています。なぜなら、日本の「正社員」は非常に手厚く遇されているからです。ひとたび「正社員」として雇用をしてしまうと、いくら成績が不振でも、解雇がとて難しいのです。整理解雇の4要件と呼ばれます。

- 1、人員削減の必要性 大幅な利益を出している会社は社員を首に出来ません。
  - 2、解雇回避の努力 整理解雇の前に「**新卒採用中止**」「希望退職者」の募集などをしたか
  - 3、整理基準と人選の合理性 選定基準が客観的かつ合理的であること
  - 4、解雇手続きの妥当性 整理解雇の必要性や内容について誠意を持って協議する
- これでは、企業が正社員を削減する方向に強く動きます。

**若者は等しくビンボーになり、高齢者へのケアは手厚くなる一方です。**なぜなら、政治が若者を見ていないからです。若者の投票率は著しく低く、若者向けの政策を打ち出しても票に結びつかないのです。逆に高齢者は投票率が高い。**前回の参議院選挙では20代は36%、60代は79%。ちょうど倍です。**しかも高齢者の人口のほうはずっと多いのです。

ジニ係数がじわじわ上昇しているのは、保有資産の状況を見れば一目で分かります。60代、70代で全資産の60%を占めています。20~30代はわずか6.1%です。ところが年金の仕組みは「現役世代」が「高齢世代」を支える仕組みになっています。個人資産1400兆円の大半は中高年齢者が持っています。若者世代は消費が不活発なのではなく「**お金がない**」のです。



←年々資産の偏在化が進んでいます

これではやる気も無くなりますよね。高齢者はお金持ちなのに年金や健康保険では優遇をされる。若者は貧乏なのに将来返って来る当てのない「年金」を納めているのです。



←これはしゃれにならないですね。

もっと直接的に見ると年代別純貯蓄額(貯蓄-負債)。高齢者の皆様、お願いですからお金を使ってください。日本の景気低迷は「若者がクルマも買わず、飲みにも行かず、ネットばかりで引きこもっている」わけではなく、「いざという日のために溜め込んでいる高齢者の眠っている資産のせい」と言っても過言でないのです。

現在 60代、70代以上の方の多くは、戦後大変な苦勞をされて今日の日本の繁榮を作ってくださっています。戦前・戦後に子供時代を過ごし、食べるものもろくになかった世代です。また、戦後の復興期には昼夜を問わず働き、世界第二位の経済大国を作り上げた世代です。一生懸命に

働いていたらいつの間にか資産が増えていた、というのが真相だと思います。

言いたいことを言います。この世代、「**お金の使い方を知らない**」のです。

以前ある老婦人が「大腿骨を骨折」をした。家をバリアフリーに作り変えましょう、という周囲の提案に「いや、**いざというときのために**お金は取っておかないと」って「**いざって、今でしょう!**」。

ことほどさようにお金を使わない高齢者が多いのです。お願いですから、次世代を救ってやっってください。黙っているなら以下の法制度を変更しますよ。



←一年間見ましたが福山さんはどうもやっぱり竜馬じゃないなあ(笑)。

船中八策 (笑)

- 一、財産税の導入 毎年保有する資産の1%を徴収します
- 二、相続税の高率化 相続税を基本80%とします。
- 三、寄付行為の無税化 今はばかばかしいことに課税されます。
- 四、解雇条件の一部緩和 成績不振などの合理的な理由を緩和します(公務員にも)
- 五、上場企業の取締役の定年を法制化します 65歳
- 六、年金の支給を所得額、資産の保有額によって変動制とします
- 七、リバース・モーゲージを全国で実施します(自宅を担保に生活資金を提供)
- 八、25歳以下の正社員雇用に助成金を交付します

無理やり八つに合わせましたので、大いに無理があります(笑)。戦後、なぜあれだけの高度成長をすることが出来たのか。並大抵のご苦労ではなかったろうと推察します。ただ、ひとつには**戦後の進駐軍による「公職追放」も大きかったのではないかと考えています。やむを得ず30代、40代の方々がトップに立った。**上場企業役員の方の定年制なんて絶対に出来ないことをあげましたが、どんどん順送りにチャンスを後輩に譲ってやってはいただけませんか?あなたの年収で若者5人を雇用できます。マジで、

実は、この続きとしてこのままでは日本が財政破綻をするとどうなる、というストーリーだったのですが、あまりに長くなりますので、続きは次回に、「大丈夫かニッポン(続編)」へ続きます。引き続きお仕事募集中^^。20代の前に50代が干上がりそうです(T\_T)。

株式会社アール・リサーチ 代表 柳本信一

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail: [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

ブログ、ほぼ(笑)毎日更新しています→<http://rresearch.blog103.fc2.com/>